

ゆらゆら変遷記・天龍村ver.

初瀬健太

あゝが隊 新聞

Vol.72

2019年4月1日

編集者:前田 美沙



まえたの天龍山暮らし～入門～

文:前田美沙

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の前田です。天龍村は梅の花が満開です。春らしくなってきましたね。芽吹きも始まり、外も畠も賑やかに慌ただしくなってまいりました。最近は何をしていましたかといいますと主にお茶畠の栽培(肥料撒きやお茶刈など)をお手伝いさせていただきながら、山菜山やミョウガ畠、原木椎茸などの準備をしています。お茶の栽培は全くの素人なので、この時期から一年を通して学べることはあると思います。また、山菜や椎茸などに関しても初めてです。

初めて全くしで並行してやることが多く、混乱気味でもあります。やはり外での仕事が私には向いていり楽しいなと感じます。それぞれの栽培のバランスをみながり、1年間のスケジュールをまとめています。

最近の個人的な趣味で、明け方と夕方の仕事外の時間に犬を連れては山を歩いています。獣道を覚えたり、單純に山の中の道を覚えたり、獣の痕跡を探したり。

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の前田です。天龍村は梅の花が満開です。春らしくなってきましたね。芽吹きも始まり、外も畠も賑やかに慌ただしくなってまいりました。最近は何をしていましたかといいますと主にお茶畠の栽培(肥料撒きやお茶刈など)をお手伝いさせていただきながら、山菜山やミョウガ畠、原木椎茸などの準備をしています。お茶の栽培は全くの素人なので、この時期から一年を通して学べることはあると思います。また、山菜や椎茸などに関しても初めてです。

初めて全くしで並行してやることが多く、混乱気味でもあります。やはり外での仕事が私には向いていり楽しいなと感じます。それぞれの栽培のバランスをみながり、1年間のスケジュールをまとめています。

最近の個人的な趣味で、明け方と夕方の仕事外の時間に犬を連れては山を歩いています。獣道を覚えたり、單純に山の中の道を覚えたり、獣の痕跡を探したり。



道といつても人がギリギリ歩けるくらいの道がほとんどで、ちゃんと教わった道を歩かないといふと間で遭難しそうになります。なので少しずつ歩ける山道を増やしているのですが、犬と歩くと面白いもので自分一人で歩くよりも発見がかなり沢山あります。

ムササビやヤマドリに遭遇したり、頭の上からコンコン聞こえると思ったらキツツキが仕事をしていたり、犬と一緒に耳を澄ませると何かの物音がしたり。犬の五感が合わさって、さらに研ぎ澄まされる感じがとても気持ちいいです。いよいよ忙しい季節が始まりますが、自分の進む道をしっかりとしながら楽しみながら活動を続けていきたいです。



今月、何を記事にしようかひどく迷っています。すでに提出前日の22時。そんなことで思っているんですが、何でもいいから書けばその勢いで言葉を繋げて行こうと思います(笑)もちろん仕事してないわけではありませんよ。単に記事にできるような面白い出来事&写真がなくて・・・毎日大河内に上って、圃場の整備に明け暮れています。水はけが悪い畠は中途半端に春から作付けせずに、長期的なことを考えて排水対策に力を入れているため、ぐるっと掘り上げたり、田んぼに畦板を入れたり、畦害対策でネットを張ったり、土づくりをし

2月下旬に播種したネギは順調に成長中です。日が出るとハウス内の温度が一気に上がるので、徒長だけはしないよう上がります。予定では4月末から5月の頭(丁度GWかな)に大河内の水はけの良い圃場に定植する予定でいます。量は21枚程度なので多くはないですが、上手くいけば11月ごろの収穫となります。今年は種枠から育苗を始めたらと計画しています。

4月に入ると遂に水稻が本格化します。今年は種枠から育苗を始めるので、4月からかわります。ゼロからのスタートで、かつ農家ではなく地域おこし協力隊としてお声掛けください。

話はかわって。たぶん活動報告会のことでもあるんですが、昨年1年間お世話になつたら農業普及員の方の担当市町村が4月からかわります。ゼロからのスタートで、かつ農家ではなく地域おこし協力隊としてお声掛けください。話はまた仕事の話に。ちょっと個人的なことでもあるんですが、昨年1年間お世話になりました。感謝です。口下手なため分からぬ点があつたかと思いますが、うございました。感謝です。口下手な活動内容についてはいつでもお答えする可能でした。言葉をいくら並べても薄っぺらく自分が感じてしまふので、いつせられればと思います。



今月の随筆

(ずいひつとは、心に浮かんだ事、見聞きしたことなどを筆にまかせて書いた文章のことです。)
文:上野 真純

暖かくなつてきましたね。
2月14日(木)~15日
(金)まで、地域おこし協力
隊ステップアップ研修に参加
しました。研修ではロードマップを作
成しました。ロードマップとは、今まで活
動したことを見せんに書き出し、模造紙に時系列で貼ることによつて、視覚的に自分が行つた活動を再確認する作業です。今日は、活動してきたことに対する村民に、どのような変化があつたか主観的に考えました。その際、同じグループの人エピソードなのですが、

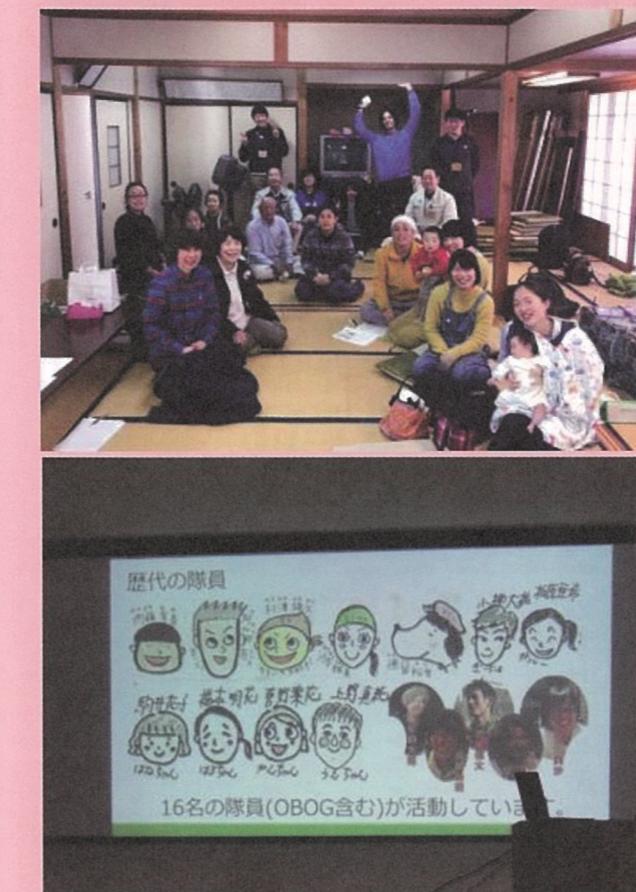
ベンチをもらつたので、勝手に道端に置いたら、そのベンチにおばあちゃんが二人座つて楽しそうに話してゐる姿を見て微笑ましく思つたという話を聞きました。地域おこしといふと大層なことを行わなければならぬイメージがあつたのですが、このようないい細なことも地域おこしなのではないいかと思つました。勝手に置いたベンチによつて場ができたのです。勝手におばあちゃんが集まつた。二人の間の意図的ではなくても村に住み、置いた。何か行動を起こせば何かしら反応があるものだなどと思いま

今回のは良い方に出了ましたが、見方が変わつた。同じ出来事でも解釈によつて変わります。ではなぜ今回は、勝手にベンチを置いても許されたのでしょうか。私は、ベンチを置いた人と住民の方々との人間関係が上手く築かれていたことが、微笑ましい結果になりました。この体験談を聞き、私も初心に戻つて村の人たちとの交流を積極的に行つていこうと

刻々天龍村 弥生便り

天龍村地域おこし協力隊 本多 紗智
こんちは。

桜が咲き始めましたね。春は始まりの時期ということで、一般的には良い季節のイメージが強いと思いますが、私にとっては花粉という悪魔の登場と、三寒四温と言われる激しい寒暖の差が相まって、メンタルも上昇と下降を繰り返す苦手な季節だったりします。



1年間、天龍村で協力隊として生活をしてみて、今後どのように活動していくか、おおむねの柱は決まりました。おおまかに言えば「ひろめる・つなげる・のこす」ことです。外部からの新鮮な視点を失わないように村の情報を発信していくこと、人と人・人と場所などを繋げる媒介のようなこと、天龍村に残っている文化や物語を視覚や記憶に留めてもらうために記録に残していくこと。まだまだ試行錯誤な点も多々ありますが、ひとまずは学生の体験受け入れをしてみる予定です。



3月8日と10日に「天龍村地域おこし協力隊&集落支援員活動報告会」が行われました。向方・ニセンジ・原・福祉センターの会場4か所をお借りして、協力隊・支援員が普段どんな活動をしているのか、また天龍村や自分の在りたい姿、今後の活動に対してどんな思いを感じているのかなどを、思い思いの形で発表させていただきました。

協力隊は最大で3年間という期限付きの制度であるためどうしても気が急いてしまい「次に何をするか」ばかりに意識が向きがちですが、このような機会を通して「過去・現在・未来」の3点を見つめなおすことは、とても大事な作業であると実感しました。会場に足を運んでくださった皆様、どうもありがとうございました。

